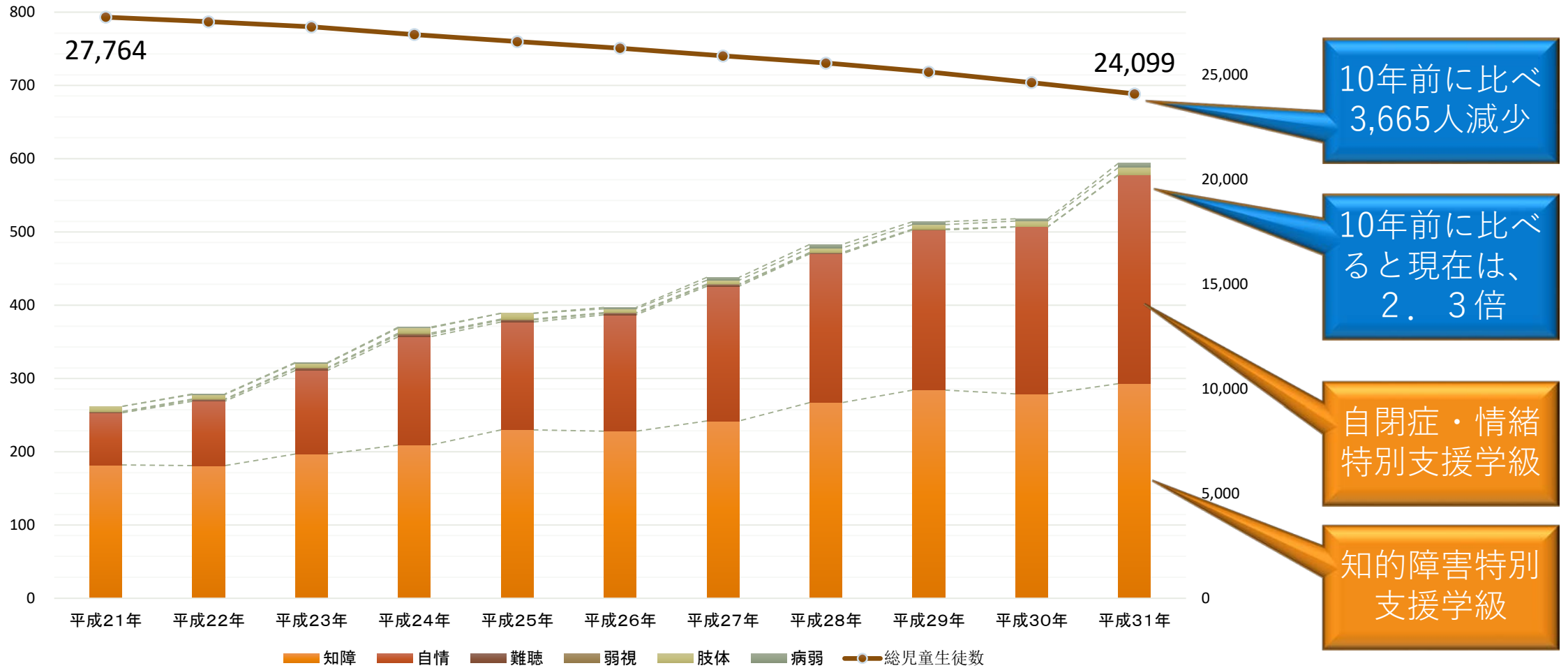


前橋市総合教育会議

前橋市の特別支援教育の取組

令和元年7月17日（水）

前橋市の児童生徒数と特別支援学級在籍児童生徒数の変化



児童生徒総数減少であるが学級在籍数増加の理由

- 特別支援学級の有用性が理解されてきたこと
- 子どもの可能性を伸ばせる手厚い教育を求める保護者が増えたこと
- 発達障害（ADHD、自閉症スペクトラム等）と診断されたり、疑われたりするケース自体が増えていること

等

特別支援教育とは

障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立つ



幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握する



持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な指導及び必要な支援を行う

本市の特別支援教育の取組

- 1 学校における特別支援教育
- 2 就学相談
- 3 特別支援教育室の役割

1 学校における特別支援教育

前橋特別支援学校

種別：知的障害（訪問教育有）

小学部： 15学級（訪問1含）
66人
中学部： 10学級（訪問1含）
48人
合計： 25学級（訪問2含）
114人

介助員8名

小学校・中学校

特別支援学級

知的特別支援学級： 70学級
293人
自閉・情緒特別支援学級： 69学級
285人
肢体不自由特別支援学級： 8学級
10人
病弱特別支援学級： 5学級
6人
弱視特別支援学級： 0人
難聴特別支援学級： 0人
合計： 152学級
594人

介助員60名

通級指導教室

言語通級
5教室
186人
情緒通級
1教室
39人
LD・
ADHD通
級12教室
231人
合計
456人

通常学級

学習サポーター
67名

ほっとルーム
市内6教室

ほっとルーム
ティーチャ-6名

2 就学相談

保護者

幼稚園・保育所・こども園

学校

■こども発達
支援センター
(子育て支援課)

5歳児検診

■総合教育プラザ

■幼児教育センター

幼児教室

就学時教育相談

発達相談

■特別支援教育室

学校訪問指導

巡回相談

教育支援委員会の運営

前橋市教育支援委員会

幼児期

学童期

教育支援委員会メンバー

- ・知的部会（精神科医・小児科医・児童相談所職員・学校教職員）
- ・肢体部会（整形外科医・精神科医・小児科医・大学教授・学校教職員・こども発達支援センター職員）
- ・弱視部会（眼科医・学校教職員）
- ・難聴部会（耳鼻科医・学校教職員）
- ・言語部会（小児科医・耳鼻科医・精神科医・言語聴覚士・学校教職員）
- ・情緒部会（精神科医・小児科医・学校教職員）
- ・発達部会（小児科医・精神科医・学校教職員・こども発達支援センター職員）

総合的な判断と指導・支援の方向性の提示

児童生徒にとって安定・落ち着いた学校生活の環境による心の安定
児童生徒の実態に即した指導による望ましい成長
保護者とのきめ細かな協働や学校全体で支える支援体制による心の成長 など

3 特別支援教育室の役割

理解啓発

- ・ 講演会の開催
- ・ 情報提供、学校・保護者及び市民への理解啓発

教職員研修

(教職員及び学校支援)

- ・ 研修会の開催
- ・ 教育相談研修による、相談技術の向上
- ・ 計画要請訪問等における校内支援体制整備や教育課程・指導方法等に関する指導助言
- ・ 臨時職員の配置、研修

教育支援委員会の運営

- ・ 教育支援委員会の開催運営
- ・ 総合的な判断に基づく特別支援教育の推進

相談・連携

- ・ 巡回相談の実施
- ・ 関係機関との連携
- ・ 個別の教育支援の充実

- ・ プラザ相談室の運営
- ・ 巡回相談や幼児教育センター等との一貫性のある相談・支援
- ・ 青少年相談

平成31年度教育行政方針より

児童生徒一人一人の生活や学習上の困難を改善又は克服

本市における特別支援教育の取組の成果

- 前橋特別支援学校のセンター機能、各校の特別支援学級、通級指導教室、ほっとルームなどの設置、介助員や学習サポーター等の臨時職員配置と活用が進められ、市全体の体制整備が充実してきている。
- 医師会等との連携と協力により教育支援委員会が機能し、市全体の質の高い就学相談が実施できている。
- 特別支援教育室が行う職務に応じた研修や学校への訪問指導等の積み重ねにより教職員の特別支援教育への理解が進んできている。

本市における特別支援教育の取組の課題

- 特別支援学級が増える中、経験の浅い担任の指導力向上とともに、専門性を備えて指導的な役割を担える教員を育成する必要がある。
- 自立と社会参加につながる具体的な支援の在り方について、教員や保護者、周囲の理解を深めていく必要がある。
- 学校における支援の充実に臨時職員が大きな役割を果たしており、今後も安定した人材の確保が必要である。

**「多様な人と協働しながら、
主体的・創造的に活動する子ども」**

～前橋市の目指す 子ども像～